

高等学校 令和8年度
教科 国語 科目 言語文化
対象学年組：第 1 学年 A 組～ E 組
教科担当者：
使用教科書：（東京書籍『精選 言語文化』）
使用教材：（浜島書店『新訂版国語便覧』尚文出版『新装版 学ぶぞ 古文と漢文』基本練習ノート 桐原書店『読んで見て書いて覚える重要古文単語315四訂版』啓陽社『書いて覚える古典文法活用シート増補版』）

教科 国語 の目標：
【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。		論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	児のそら寝 【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使いことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえ、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえる。	・古文と現代文の違いについて確認する。 ・説話というジャンルについて理解する。 ・本文を音読し、歴史的仮名遣いに慣れる。 ・児の気持ちの変化を整理し、最後の描写の意味について考える。 ・現代語訳する際の注意点を理解する。	【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	羅生門（芥川龍之介） 【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使いことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえ、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえる。	・小説の構造に留意し全体を場面ごとに分ける。 ・設定を読み取る。 ・文章内の情報を整理しながら主人公の心情の変化を追う。 ・なぜそう読めるか根拠を明確にし、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 ・原典の口語訳と比較して、近代小説の要素を明らかにする。 ・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 ・語彙を豊かにする。	【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景やほかの作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・また、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで原典について理解を深め、学習課題に沿って、翻案作品と原作との違いや、翻案作品の創作性について考えようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学 期	徒然草（兼好） 【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使いことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえ、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえる。	・全文を音読し、話のあらすじを読み取る。 ・第一段落と第二段落の関係を理解する。 ・主題を考える。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・用言について、過去と完了の助動詞について理解する。	【知識及び技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文語のきまりや古典特有の表現を理解し、学習課題に沿って作者の考えを的確に捉えようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	こころの証—短歌抄 【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使いことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえ、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえる。	・短歌とはどのようなものか、どのような短歌を知っているかなどについて話し合う。 ・掲載された短歌を音読し、リズムを味わい、短歌に慣れる。 ・それぞれの短歌について、読解・鑑賞をして話し合う。 ・掲載された短歌の中から印象に残った一首を選んで、四百字程度の感想文を書く。	【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで短歌や俳句の特徴や表現効果を理解し、学習課題に沿って、それぞれの歌に込められた情景や心情を読み取ろうとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学 期	伊勢物語 【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使いことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえ、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえる。	・作品について要素に沿って分析し概略を理解する。 ・本文を音読した後、概略を発表し、ノートにまとめる。 ・女の高貴性と男の心情の推移を読み取る。また、「白玉か…」の歌に込められた男の心情と歌の役割を理解する。 ・推量の助動詞を理解する。	【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで歌物語の特徴や表現の仕方について理解し、内容を的確に捉えようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
							合計 70